

令和2年度

地域福祉学習事業実績報告

町内の各小中学校(5校)を指定し、地域ぐるみで生徒・児童を守り育てようとする取り組みを支援することにより、共に支えあう地域社会づくりを推進することを目的に「地域福祉学習事業」を支援しています。

(この事業は、共同募金の配分を受けて実施しました。)

神戸小学校

目的

幅広い体験や活動を通じて、他を思いやる心を持ち、進んで行動する児童を育成する。

内容

〈5年生 総合的な学習〉

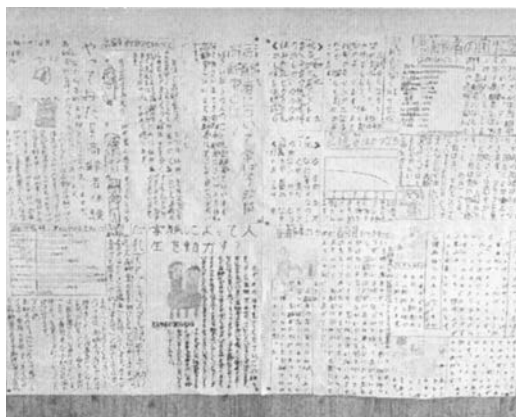
- ・障がいのある方や高齢者の生活の様子や思いについて、タブレットを活用して調べた。
- ・手話のDVDを視聴した。
- ・点字体験を行った。
- ・体育館や多目的室にて、車椅子体験、高齢者疑似体験、視覚障がい者体験を行った。
- ・福祉について学習したことを壁新聞にまとめ、4年生教室の前の廊下に掲示した。壁新聞をもとに発表したものをビデオに撮り、4年生に視聴してもらった。
- ・認知症について、タブレットを活用して調べた。
- ・自分たちができることについて考えた。



▲疑似体験

成果

DVDや模擬体験用備品を活用して、障がいのある方や高齢者の方の疑似体験をしたり、タブレットを活用して、その苦労や願いについて調べたりした。これらの体験学習や調べ学習などを通して、福祉の心を養うことができ、自分たちができることを考え、課題意識をもって活動することができた。



▲壁新聞



▲車椅子体験

下宮小学校

目的

様々な人とのふれあいや体験的な活動を通して福祉の心を養い、進んで福祉活動に参加しようとする態度を育てる。

内容

- 〈高齢者福祉、障がい者福祉の時間〉
- ・学習したことこの発表
- ・花いっぱい活動

▲調べ学習



成果

福祉学習を通して、高齢者や障がい者の生活の大変さに気付き、児童一人人がどういふことができるか、そして高齢者や障がい者の方にとって暮らしやすい町にするためにはどうするとよいかを考え、意見発表することができた。



◀意見発表



◀疑似体験

南平野小学校

目的

福祉活動を積極的に推進し、福祉教育の充実を図る。

内容

○心の教育推進活動

- ・年間を通して、植物や生き物の世話をし、生命の大切さについて考えた。
- ・全校で大根を栽培し、「だいコンテスト」を開催することで収穫の喜びを感じた。

- ・ハリヨの生態を学習するため三年生が加賀野池での校外学習を実施した。
- ・三年生が学校のハリヨに毎日乾燥赤虫等のえさを与えた。

○伝統文化・達人の技の学習

- ・地域の達人から学ぶ(クラブ活動)(文化クラブ・アートクラブ)



▲だいコンテスト：大根の収穫



▲3年生校外学習：ハリヨ池の観察



▲3年生から2年生へハリヨえさやり伝授

- 児童による委員会活動や常時活動
- ・児童が毎日、校内バラ園の水やりを実施。
- ・海外支援のため子ども用の靴を集めた。
- 芸術鑑賞会による情操教育
- ・文化庁の文化芸術体験機会の創出事業補助事業を受け、劇団「風の子」による「ギャングエイジ」の演劇を鑑賞した。

成果

野菜やバラなどの世話を手間ひまかけて行う体験的な活動を通して、自然や他への生命を尊重する心情や探求心などの素地を養うことができた。クラブ活動を通して、手話や生け花などを講師を招いて学習することで、福祉活動への理解を深めることができた。



▲4年生：へちまの収穫



▲芸術鑑賞会：劇団「風の子」

北小学校

目的

・高齢者や幼児とのふれあいを中心とした福祉学習を意図的・計画的に工夫し実践することで、他への思いやる心を育てる。
 ・学校、保護者、地域との連携がより強化され、地域全体で支え合う温かい絆づくりを推進する。

内容

- 人権推進指定校としての活動
- ・車椅子バスケットボール体験
- ・人権の花植え活動
- 異年齢集団による交流
- ・縦割り班によるふれあい活動
- 校内花壇・果樹園・畑整備
- 授業(総合的な学習・生活科・クラブ等)での地域の方とのふれあい活動
- ・クラブやおはなしひろば【講師】
- ・野菜や米作り、みかん栽培【講師】
- ・音楽療法や和太鼓の演奏活動【講師】



▲野菜づくり

成果

・地域との連携により、教育活動のより一層の充実が図られ、北地区全体で支え合う温かい絆づくりが推進できている。
 ・異年齢集団との交流を通して、異なる立場を理解し、他者を思いやる心と上級生としての自覚が育ってきている。
 ・なかよし学級では、音楽療法や和太鼓演奏の活動を通して、リズム感を体全体で覚え表現したり、意欲的に集中して活動に取り組んだりする姿が見られている。



▲太鼓・音楽療法



▲人権の花植え

神戸中学校

目的

・生徒会を中心に、町社会福祉施設との交流を行い、他者を思いやる心を育てる。
 ・地域の清掃、行事への参加、ボランティア活動への参加等を通して、感謝の心、地域の一員としての自覚がもてるようにする。
 ・農作物や植物を育て、それを役立てることを通して、生命を大切にすることを育てる。

内容

- ①居住地交流
- ②鉢花の購入
- ③校内花壇整備



▲サツマイモ植え

成果

①特別支援学級の生徒が居住地交流の生徒との間接交流を行うために、サツマイモを植えた。収穫したサツマイモを調理しプレゼントをしたり、蔓を使ってクリスマスリースを作成したりした。長期的に交流ができる工夫を行った。
 ②卒業式に飾る鉢花を各学級で水やりをして育て、式場を飾った。その後「もちのき園」に寄贈した。この交流を継続することで福祉への意識を高めたい。
 ③神戸町からいただいたバラの苗を新たに育てるために、土・肥料等を購入し、地域の方との交流を生み出したい。



▲校内花壇の整備



▲クリスマスリースのプレゼント